



東吾妻町

議会だより

第26号

平成24年8月1日

発行：東吾妻町議会



6月定例会

人事案件・補正予算など可決……………2P

「中学校統合について」

など8議員が一般質問……………4P

●写真公募のお願い●……………11P

伝統を受け継ぐ
岩下祇園

16案件を可決 第2回定例会

平成24年第2回定例会は、6月6日から15日までの10日間の日程で開催されました。
町長より、人事案件、条例の制定・改正、一般会計補正予算など議案16件が提出され、
いずれも原案どおり可決しました。
一般質問では8人が登壇し、町政をたどしました。

教育委員に
町田 仁一氏



東吾妻町教育委員会委員、保護者代表委員の任期満了に伴い、町田仁一さんが改めて選任され同意しました。大学生、高校生の保護者で、人格も高潔であり平成23年9月から教育委員会委員の職務に従事しています。
任期 平成24年6月21日から
平成28年6月20日まで

固定資産評価審査
委員選任に同意

任期満了により、3人の方を引き続き固定資産評価審査委員に選任同意しました。

山崎孝利さん
(4期目 郷原)
飯塚理さん
(4期目 高崎市)
佐藤勉さん
(2期目 新巻)

平成24年度補正予算

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	△212万円	79億4,287万円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)	△9万円	8,613万円
特別養護老人ホームいわびつ荘 運営事業特別会計	464万円	2億2,329万円
下水道事業特別会計	△770万円	5億8,608万円
簡易水道特別会計	4万円	5,022万円

補正予算 主なもの（一般会計）

- 商工費
・ 買い物代行業補助金 …… 52万円
- 教育費
・ 教育施設除染対策事業ホットスポット等
簡易除染重機借上料等 …… 200万円
・ 緊急スクールカウンセラー等派遣事業
原町小学校へ配置 …… 106万円
・ 小学校費太田小のシャワールーム新設工事
…… 493万5,000円

人権擁護委員
候補者を推薦

平成24年9月30日をもって1名の方が任期満了となることに伴い、今回新たに加部精一さんが推薦され、適任と認めました。

加部さんは、萩生在住で、町の青年団長・民生委員などをされ、地域住民からも社会的希望のある方で、現在は土地改良区推進協議会長をされております。

その他の議案

- ◆ 税条例の一部改正
- ◆ 小学校入学祝金支給条例の一部改正
- ◆ 字区域の変更
(町営上郷 土地改良事業)
- ◆ 群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議

12事業を繰り越します

表の各事業は、23年度中に終了できなかったため、24年度に繰り越されました。

事業名	繰越額
住居移転業務	85万5,000円
あがつまふれあい公園整備事業	2,747万6,000円
三島西部第二地区土地改良事業	1,420万円
大沢集会所整備事業	1,080万円
基盤整備事業（萩生川西地区）	2,301万1,000円
農業体質強化基盤整備促進事業	1,861万円
県単林道改良事業（ユーシン線）	630万円
道路改良事業（馬場・手子丸線）	1,784万3,000円
道路改良事業（岩下・川中線）	9,764万円
太田小学校体育館改修事業	1,025万2,000円
公共土木施設災害復旧事業	738万円
林業施設災害復旧事業	2,380万円

外国人登録
制度が廃止

外国人住民も日本人と同様の基礎的サービス提供の必要性が高まり、平成21年法改正がされました。

これに伴い、外国人登録制度が廃止され、外国人住民にも住民基本台帳が作成されることになりました。

福祉医療費支給に関する条例を改正

とになります。

今回は出産祝金、印鑑登録及び証明に関する条例の「外国人登録」の字句を整理する条例改正がされました。

（平成24年7月9日施行）

療費受給資格には、唯一所得税要件が設けられています。

今回の所得税法等の改正では、年少扶養控除と特定扶養控除の上乗せ部分が廃止されたことにより、不利益を生じるケースがあるため、改正前の旧所得税で計算し、受給判定をすることとしています。

（平成24年8月1日施行）

議案の審議結果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
							菅谷光重	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	轟徳三	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	橋爪英夫	
第 2 回 定 例 会 平成24年 6月 6日～15日																					
人権擁護委員候補者の推薦		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
教育委員会委員の任命		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
固定資産評価審査委員会委員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
固定資産評価審査委員会委員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
固定資産評価審査委員会委員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
福祉医療費の支給に関する条例の全部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
税条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
小学校入学祝金支給条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成24年度一般会計補正予算(第1号)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成24年度特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計補正予算(第1号)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成24年下水道事業特別会計補正予算(第1号)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
平成24年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
字区域の変更		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席
議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。（議長 1番 菅谷光重）
※…地方自治法第117条により、本人除斥。

一般質問

町政を問う



ていく
保育所)



金澤 敏議員

総合こども園の設置は 数年後を視野に検討中

Q 「子ども、子育て新システム」で本町の保育の現状はどの様に変化していくのか。

A 国では国庫負担金・補助金を「こども園給付（仮称）」に一本化する計画である。こども園給付は民間施設が対象であり、この機会に幼保一体のこども園を整備した方が財政的

にも、子供たちの為にも良いと考えている。

Q 「こども園」設置に関してどこまで進んでいるのか。

A こども園設置は、行政改革推進本部で協議をしており、旧吾妻町の三ヶ所の施設はいずれも古く、大戸保育所は利用者が激減、原町保育所は希望が多い。

当町の出生数も年間80人前後で推移し、障害児の受け入れなどサービス向上のためにも必要と感じている。公立のため建設の補助は一切ないので「合併特例債」などを有効に活用したい。

Q 本町の子育て支援の方向性の変更はあるのか。



一場明夫議員

中学校統合について 統合準備委員会で協議

Q 中学校統合の今後のプラン、プロセスはなにか。幼稚園・小学校も並行して考えていかなければならないと思うが。

A 現在、中学校統合準備委員会を立ち上げ、統合に向けた検討を進めている。ある程度の案等ができれば、議会へも示していく。また、幼・小・保育所の再編

については「こども園」も含めて検討していきたい。

Q 準備委員会の方向が出る前に、議会としての方向性が出ていないと困るのではないかと、議会で条例が改正されていないが。

A 設置条例は、校名などが具体的にならないと決められないので問題はないと思う。

Q 震災被災地の復興のためには、国民としてできるだけの協力をすべきと考えており、災害廃棄物の受け入れ処理に反対するものではないが、今回の判断については、当町議会特別委員会の意見や、住民に処理計画等示されず判断したと思われるが。

A 受入については、構成町村長で協議し、最終判断は管理者へ一任した。処理方法につ

いては、一般廃棄物処理業務の一環と理解している。

Q 廃棄物処理費に関する専決処分は正当と思うか。

A 組合事務局が周到に精査しているので、問題はないと思う。

Q 町長はもっと議会と情報を共有する事が大事と思うが。

A これからも議会と意見の交換をしていかなければと思っている。



根津光儀議員

国民健康保険の運営について

答 国保事業安定化計画を策定



保育所老朽化や、少子化の対策を考え
(原町)

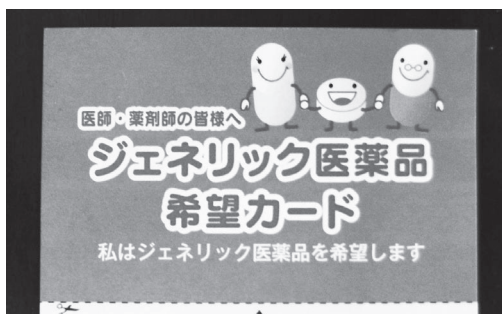
Q 24年度の国保特別会計では一般会計からの繰入金を一億七、〇〇〇万円余りとしており、厳しい財政状況にある。経営改善のためには各種データの分析が必要と考えるが、現状では正確で十分なデータを得ることが出来ない。群馬県国民健康保険団体連合会に資料提供を求め、国保と保健セン

ターがデータを共有し運営改善に役立てるべきではないか。
A データのやりとりについて早急に改善し経営分析や対策に役立てていきたい。
Q 医療費抑制のための方策は。
A 医療費のおよそ30%が薬剤費なので、ジェネリック医薬品の普及を図りたい。被保険

A 新システムでは、働いていなくても保育所に入れる幼稚園と保育所が一体化し、全ての子どもに幼児期の教育と保育が保障される内容である。公立のみの施設では、町が関与し、入所調整をするので、現行と全く変わら

ない。障害児など特別な支援が必要な子どもについても同様である。
Q 今後、こども園を考えていく中での担当課や係をつくる考えはあるか。
A 今後必要性があれば検討したいが、今のところ具体的にはあり

ません。
Q 原町保育所を建て替える考えはあるのか。統廃合も含めて早急にもっと広い土地へと思うが。
A 借地なので他の町有地の有効利用を考えていきたい。



者証交付時に「ジェネリック医薬品希望カード」を配布したりしている。
平成24年度中には

「東吾妻町国民健康保険事業安定化計画」を策定して行く。
Q 保健センターの充実や社会福祉士の配置が必要と考えられるが計画はあるか。
A 保健センターの充実に努め、国保担当の保健師配置についても検討して行く。特に社会福祉士については早急に検討して行く。
Q 大学生などをインターンシップとして町村に派遣するNPOの事業がある。これを使ってお年寄りへの声か

けや、予防活動の一助に出来ないか。
A 都会から来た若者が各種行事に参加したり、町の人達と交流することは明るい地域作りや病気予防に効果があると考え、現在仕組みを検討中である。

ジェネリック
医薬品とは
価格が安く、安全性は新薬と同等と認められている薬です。

福祉事業の重点施策は

答 子育て支援を推進



須崎幸一議員

Q 福祉事業における課題と財政上の負担についてどのような状況なのか。最初に社会福祉事業についてはどうか。

A 町では、特別養護老人ホームいわびつ荘と4つの保育所を運営している。
いわびつ荘は、限ら

れた介護報酬で、不足分を一般会計から繰入れて運営している状態で、平成26年4月を目途に指定管理者制度への移行を目指す。

保育所は、老朽化した施設の整理統合が課題。保育所運営費は、一般財源化されて、交付税算入となっている。

しかし公立保育所建設に対する補助制度はありません。

Q 障害福祉事業について。

A 障害者自立支援法により介護保険同様なサービスがある。しかし収益性が悪く、サービス提供者が少ないのが現状である。今後は、

Q 老人福祉事業について。

「吾妻地域自立支援協議会」等で検討している。障害者サービスは、

Q 福祉医療について。

国・県から法定の財政措置が図られている。

上信自動車道へのアクセスと周辺整備は

答 県に対し陳情



橋爪英夫議員

Q 県道伊香保く村上線の狭く急カーブが続く坂道区間は大型定期バスも通り、改良が求められる。また中組地内の信号設置要望力所についても進捗状況を聞きたい。

A 県に対し拡幅改良を引き続き要望していく。

Q 岡崎柏原地内の町

A 危険箇所は認識している。急いで注意看板の設置を行い、今後



ある町道 9058 号線（岡崎柏原地内）



青柳はるみ議員

老朽化する施設の長寿命化を

答 計画的に改修していく



通勤、生活道路として、多くの利用が

Q 町有施設や防護柵やガードレールは壊れてから取り替えるのではなく、点検、修理、塗装で長寿命化がはかれるのではないかと。町内業者ができる仕事に生まれ、経済の活性化にも繋がると思うが。

A 町が管理する橋梁は258橋あり、50年を経過した橋梁が8橋、20年後には69橋となり、

完成年度が不明な橋が139橋ある。国庫補助対象が52橋あり、25年度に長寿命化を策定する計画である。今回、関越道のバス事故を受けて防護柵等の点検を行い、破損箇所95mは早急に交換、補修を実施する予定である。最近では地震や台風など



岩島荒神橋 計画的な改修を

の土砂災害、突発的に発生する竜巻などが想定され、町民の生命を守るべき避難施設の老朽化は、町の防災に対

する不安を招きかねない。改修で対応できる施設は経済面からも改修による長寿命化をはかり、町民の安心、安全の確保を考えていく。

Q 町特有の文化とスポーツを結び、多くの人が訪れる町づくりを推進すべきと思うが、町長のビジョンを伺いたい。

A 真田街道推進機構を中心にNHK大河ドラマ放映実現に向けた活動をしている。歴史ある自然の美しい中でハイキング、

調査検討して行く。

Q 道の駅構想について、採算面も含めてどう考えているか。

A 町に一カ所は設置する方向で考えている。三島に整備中のふれあい公園は、八ッ場バイパスや県道林・岩下線からのアクセスも良好なので最有力候補地で

あり、町ダム対の下流域振興検討部会で検討中である。特徴のある施設にして、地元との協力や民間業者の参入についても検討が必要と考える。

Q 上信自動車道、箱島・厚田間には、都市計画地域がある。吾妻警察署や広域消防本部

の立地についてどう考えているか。

A 都市計画道路原町駅南口線について上信自動車道へのアクセスに関わる陳情を上げている。警察署、消防署ともに当町における立地が最も良いと認識している。

サイクリング、ノルディックウォーキングや清流はたる、ゆかりのある桜、花を楽しみに人が交流している。その環境の保全、維持管理に取り組んでいる地域の努力がある。

また交付金、補助金制度を活用し、集落で取り組んでいる共同活動は40団体。これらの活動を支援しながら、「緑と清流の町」に恥ない美しい郷土づくりに努め多くの人が訪れる町にしていく。

中学校統合の住民説明会は

答 準備委員会で対応していく



茂木恒二議員

Q 統合問題の住民説明会をなぜ開催しないのか。主権者たる住民に対して説明会を開かないということはない

えない。

A 住民説明会は開かない。統合に関する準備委員会を立ち上げ疑問に対し説明していく。

Q 教育長発言「統合は町の専決事項で最終決定権は町部局町長の権限である」及び、町長名文書の根拠とする法令があれば示してほしい。

A 小中学校の設置については議会の同意を得て決定するものである。

Q 統合問題審議会の答申を統合決定の根拠としているが、答申は法的拘束力がないのではないか。

A 3〜4回開催し、結論を得たいとの執行部方針であったが、始めに統合ありきではないのか。

A そういうことはない。

Q 町長発言の審議会方式とは。その内容は

A 地方自治法に基づき設置した。東地区は区長要望により地域審議会懇談会を開いた。

Q 今後町政懇談会を開く。統合の進め方に対して意見を述べる住民

を統合反対派と位置づけているのではないか。

A 今後は報告していく。議会では全員協議会で方針を説明した。

Q 教育委員会事務局は答申とほぼ同じ内容の原案を出したが、この判断の根拠は。

Q 議決承認を得ていない中学校統合を教育委員会が執行部と一体となつて推進しているのは問題ではないか。

A 基本的には多い方の意見に基づいて案として出した。

A 町の方針として統合は方向性が出されている。町部局と教育委員会が統合を進めることについては問題ないものと考えている。

Q 最終意志決定機関である議会に対し、経過を含め説明責任が果たされていないのでは。

インフラ整備について

答 早急に改善を検討



山田信行議員

Q 上信自動車道の川島バイパス起工式に際し、どんな気持ちで臨んだのか。

A ようやく祖母島・箱島バイパスが着工となり、今後は町内の計

画を早期に完成させなければという思いで臨んだ。

Q 箱島・厚田間の早期着工について働きかけはどのようなになっているか。

A 早期に整備区間の格上げと共に、仮称吾妻大橋へのアクセスも含め、県知事及び県議会議長へ陳情している。

Q 原町地区道路拡張





一般質問

昨年12月の臨時閣議で、一三四億七、八〇〇万円が決定されましたが、本体工事は未だ執行されていません。

予算執行は、生活再建法の決定と、河川整備計画が条件となっており、6月23日に河川整備計画の意見募集が終了しました。

また、ダム中止発表以来、国交大臣が5人

ハッ場ダム対策特別委員会

も交代し、先の読めない状況となっています。

一方、生活再建事業については、国・県・町においても全力をあげて取り組んでいくとの説明がありました。

5月11日には、県道林・岩下線が開通し、吾妻川左岸が大変便利になりました。

また、ハッ場ダム下流地域振興検討部会も



オープンした
ふれあい公園

発足し、道の駅を含め地域振興が検討されていくと思われます。



足跡に誘われ
ドッグラン

上信自動車道ハッ場バイパス

国道145号線（松谷地区）



は、高校の存続、中学校統合通学路などの問題から、バイパスより市街地等のアクセスについて早急に改善が必要と思われるが。

A 中学校統合により、スクールバス以外での通学生徒が増加することとは確実である。JRの踏切拡幅を含め国道145号線から渋川・東吾

妻線まで拡幅改良が必要と考えており、事前調査・協議を進めるよう指示している。

土木事務所へは、槻木周辺から町道5090号線までの歩道整備を要望している。

Q 上野地区、在下地区の道路は日常生活においても支障をきたしている。特に緊急車両

の通行が可能なのか、懸念される箇所が多い。早急に改善が必要ではないか。

A 道路改良の計画をしたが、用地交渉が不調となり現在休止している。地形的な問題、用地対応の問題と共に財政状況を考慮し今後の課題と考えている。

文教厚生常任委員会

【中学校統合関係】

中学校統合準備委員会が立ち上がり、事務局を学校教育係に置く3部会が組織され、タイムスケジュール表が出されました。

▼スクールバス

遠距離通学に関しては、基本的に無料スクールバスで対応する方針が示されました。

▼給食調理場

各給食調理場の老朽化により、町内1ヶ所に統合し、場所は、旧岩島第一小学校用地を候補地とする報告がありました。

町に対し中学校統合関係で、後に禍根を残すことのないよう、住民の理解と協力を得るよう強く要望しました。



原町大宮神社境内に学童保育「原町こどもクラブ」が、5月開所しました

【特別養護老人ホーム いわびつ荘】

指定管理移行を平成26年を目途とする説明がありました。

【社会福祉協議会】

建築中のデイサービスセンターの説明を受けました。

デイサービス水仙と命名され6月末には完成する予定です。



安心して過ごせる施設です
「デイサービス水仙」 川戸

行財政改革推進特別委員会

6月14日に委員会を開き、企画課長より行財政推進本部の3月議会以降検討した内容及び、特別養護老人ホームいわびつ荘を平成26年4月を目途に、指定管理移行を目指すことの報告がありました。

総務課長より、職員定員適正化計画(案)を3月定例会中の行革推進特別委員会で示し、新たな人材育成基本計画を策定していく。加えて、平成25年度新採用を考慮すれば12月議会での議決が必要とのタイムスケジュールも示されました。

この計画案の中で適正と思われる職員数の合理的根拠や妥当性について、事務量の把握や積み上げの必要性の観点からの指摘が出されましたが、明確な積み上げはなかなか難しく、できていないとのことでした。次回定例会前には人材育成基本計画が示せるとのことです。

「給食調理場 検討結果報告」

執行部は、これから担当部局との検討を行うことが示されました。委員会より民間委託も視野に入れ、その方向も検討すべきとの意見が出されました。

また、新庁舎建設も前回の説明では既に建設予定地が2地点に絞

【民間による小規模特別養護老人ホーム計画】
吾妻郡福祉圏域内の東吾妻町に29床の施設が計画されることになりました。名称はいいせんり、1階に16名、2階に13名の計29名、ショートステイ事業は5名で小規模特別養護老人ホームとして実施されます。



古谷地区に設置された
モニタリングポスト

東日本大震災復興対策 特別委員会

去る4月13日に委員会を開催しました。

調査事項の具体的な取り組みの検討を行いました。

東日本大震災に伴うがれき処理に関する諸問題

- ・吾妻東部衛生施設組合による震災がれき受入の検証
- ・震災がれき処理に伴う吾妻東部衛生センター（可燃ごみ処理施設、最終処分場）の進捗状況の確認
- ・震災がれき処理に伴う吾妻東部衛生センターの施設自体の安全確認（耐久性を含む）

・吾妻バイオマス発電所における燃料受け入れ（震災がれきの広域処理）について

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質に関する対策

- ・特措法に基づく除染計画の進捗状況
- ・上記以外の除染計画（町単独のものを含む）
- ・子どもたちの生活の場における除染対策
- ・農業・観光業などの産業全般に対する風評被害を含む影響
- ・放射性物質に関する研修

以上の項目を調査研究の議題として、今後取り組んでいくことを確認しました。

6月11日に中澤町長および副町長、本多町民課長はじめ関係する

各課長、JAあがつまより深代清氏に出席をいただき2回目の委員会を開催しました。

最初に、JAあがつまの深代氏より吾妻管内、放射性物質関係の情報について聞きました。その次に、町民課長をはじめとして関係課長より、特措法による東吾妻町除染実施計画についてや、町の空間放射線量および放射性物質測定などの説明を受けました。その後、各委員の質疑および意見交換を行いました。

吾妻広域圏行政に関する研修会

去る3月23日金曜日午後2時より吾妻文化会館1階講座室において議員9名職員1名の計10名が研修会に参加しました。

テーマ「吾妻広域行政全般について」と題して、吾妻広域町村圏振興整備組合事務局長 富澤 済 氏の講師による研修会が開催されました。

吾妻広域町村圏振興整備組合の役割と現状について1時間半ほど説明を受けました。

特に印象に残ったことは、今後の基本的な考え方として、広域行政圏施策は市町村合併により、当初の役割を終えたものとして平成21年度から廃止になり、今後の広域連携については地域の実情に応じて関係市町村の自主的な協議による取り組みが行われることが適当であることや、国が「定住自立圏構想」を推進していく方針が示されたことなどが参考になりました。また吾妻広域町村圏振興整備組合の現状についての説明があり、組合の全般について理解を深めることができました。

あの請願・陳情はどうなった？ 町執行部より処理経過の報告がありました。

内 容	処 理 状 況	
太田幼稚園駐車場の舗装に関する陳情	平成18年12月採択	未 決
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年9月採択	処理中
旧坂上診療所を改修して新たな通所介護施設（デイサービス）として活用すること	平成21年9月採択	未 決
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号（程岩）線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
請願 公衆用道路の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中
道路改良に関する請願	平成23年6月採択	処理中
陳情 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中

写真公募のお願い

この度、読者の皆様から議会だよりに掲載する写真の公募をすることになりました。

町の風景・行事など広く募集いたします。

掲載時期、場所については議会広報対策特別委員会に一任とさせていただきます。なお、人物が特定される写真については、事前に掲載の了解を得ていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ 議会事務局 68-2111

まちの声

「地元の消防団に入って」

から さわ のぶ あき
唐澤 信明さん
(箱 島)

私は、平成18年の3月に縁あって箱島に引越してきました。引越と同時に、同級生から消防団に誘われ「参加できる行事だけ出ればいい」という軽い気持ちで入団いたしました。

入団当初は、当たり前かもしれませんが、何の事情も分からず、ただただ先輩の言われたとおりの事をするのみで、たいしてやる気もありませんでした。しかし、幾度目かの火防回りの時、ご近所の方から「暑い中ご苦労様、気をつけて」と声を掛けられました。その時初めて、新参者の私も地域の方々から見て頂いていると自覚し「どうせやるなら精一杯やろう」と思う様になりました。それからは積極的に自分の都合を付け、消防活動に参加するようになりました。決して広い地域ではありませんが、最近やっと人と家が分かる様になってきました。

また今年は、私が所属する分団が吾妻郡消防ポンプ操法に出場する年であり、春先から団員一丸となって練習を重ねてきました。私はサポートする側の人間で、選手達を近くで見えておりましたが、本当に選手達の努力には、頭が下がりました。

また、広域消防署の皆さん、本団役員の皆さん、近隣分団員の皆さん、消防OBの皆さんにも大変なご協力を頂き、今回県大会出場を決めることができました。

8月に行われる県大会もそうですが、消防団で培った精神で今後何事においても精一杯取り組んで行きたいと思っております。



7月に行われた吾妻郡ポンプ操法大会

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
節電節電と叫ばれている中、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

放射能問題、中学校統合問題、ダム関連問題等、いろいろと諸問題を町民の皆様にはわかりやすくお知らせし、理解をして頂くために、広報担当として委員会の全委員と協力し「議会だより」が読みやすく、興味を持っていただき、次の発行に期待ができるような編集に努めてまいりました。

六月の定例会では、主に補正予算案、外国人登録制度の廃止、福祉医療に伴う条例改正の審議が行われました。

今後とも皆様の協力や、声を聞き入れながら、より良い「議会だより」を発行して行きたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

議会広報対策特別委員会

委員 轟 徳三